

定期総会を開催

佐藤会長が留任

JER補改修協会

JERコンクリート補改修協会は7月30日、神戸市中央区のANAクラウンプラザホテル神戸で定期総会を開催した。

冒頭、佐藤匡良会長(写真)

は「高騰する諸経費を製品価格へ転嫁するには、価値ある製品・品質・サービスの提供が不可欠だ。充実した補修工法群、数多い専門技術資



格取得者といった強みを活かし、業界全体の利益確保、さらなる発展と成長の実現が当協会の使命だ。また、上下水道施設や橋梁といったインフラの老朽化に関わる技術開発・製品化を推進し、会員各位のビジネスチャンス拡大に貢献していく。加えて、労働力不足に対しては、省力化技術や工期短縮が図れる製品開発に一層注力していく」と挨拶した。

続いて議案審議に移り、すべての議案は可決承認された。新年度の事業計画として、人手不足による受注量減解消を目的としたシステムの構築、コンクリート防食技

による人材不足対策、技術研修会やセミナー開催などを掲げた。また、任期満了に伴う役員改選では佐藤会長が留任した。

当日は、同協会管路部会の総会も開催された。井上敬介部会長が「下水道業界が注目されており、異業種参入が活発で技術革新も加速している。時代の流れに遅れないためには、柔軟かつ迅速な対応が求められる。他団体にはない独自性を追求しながら、さらなる発展を目指す」と挨拶した。

その後の議案審議ではすべての議案が可決承認され、新年度の事業計画として、展示会出展を中心に部会の知名度向上を図るほか、審査証明を活

用した啓発活動を推進する方針を掲げた。また、任期満了に伴う役員改選では井上部会長が再任された。